



「上島町の暮らし×SDGs」～アクアの森植林交流会～

上島町の暮らしは、海に囲まれた豊かな自然によって支えられています。しかし、きれいな海は“きれいな川と森”があってこそ生まれるものです。そんな「山→川→海」のつながりを守るため、毎年開催されているのがアクアの森植林交流会です。

上島地域に送られてくる水の源流である、広島県東広島市福富町の森で植樹を行い、自然環境を守る取り組みとして続けられてきました。

上島町に送られる水は、遠い山の自然が育んだもの。

その恵みに感謝しながら、

- 山を守る
- 川を守る
- 海を守る

という自然の循環を未来につなぐのが、この交流会の目的です。

過去に植えた苗木が成長していく様子を見るのも、この活動の大きな楽しみです。

なぜ、植林がSDGsなの？

🌿 SDGs 6：安全な水を世界中に

森が雨をゆっくり蓄え、きれいな水となって川へ流れます。

→ 水の恵みを守る活動そのもの。



🌊 SDGs 14：海の豊かさを守ろう

山の土砂が流れ込まないことで、瀬戸内海の海洋環境も守られます。

→ “山を守る＝海を守る”を体現。



🌳 SDGs 15：陸の豊かさを守ろう

森林は土砂流出を防ぎ、生態系を保全します。

→ 植樹は生物多様性の保全につながる。



自然環境がつながり合う「流域全体」を守るこの活動は、

SDGsが目指す未来にぴったりの取り組みです。

植樹は一本ずつの小さな作業ですが、

10年・20年先の海の豊かさ、町の暮らしの質を支える大きな力になります。

上島町の水と海を未来に残すために、

来年度も多くの皆様のご参加をお待ちしています。

未来をつくる一歩です。

■ 問い合わせ

企画情報課 ☎ 77-2500

上島町農林水産課からのお知らせ



1. イノシシ対策について

近年、イノシシの目撃件数、捕獲頭数（上島町鳥獣被害対策実施隊及び各地区捕獲隊の捕獲活動による）ともに減少傾向にありますが、まだまだ農作物への被害は後を絶ちません。住民の皆さまにおかれましても、以下のことに注意してイノシシが近寄らない、増えない環境づくりのご協力をお願いします。必要に応じて上島町鳥獣被害防止対策事業補助金（イノシシ防護柵等の補助金）をご活用ください。

- 収穫しない果樹は伐採することを検討する。
→ 果樹の管理ができず未収穫で放置すると、イノシシの餌場になります。
- イノシシの餌となる柑橘や野菜の収穫の残りは埋設するなど適切に処分する。
→ 放置された果実や野菜を食べるイノシシは栄養状態が良くなり、子育てに成功しやすくなります。
- 家や農地の周りの草刈り等を適宜行い、イノシシの隠れ場所をなくす。
→ えさの近くまで隠れられるヤブがあると、近づきやすい環境になってしまいます。

令和7年度 有害鳥獣捕獲実績

	弓削地区	佐島地区	生名地区	岩城地区	魚島地区	合計
イノシシ	31頭	12頭	24頭	89頭	45頭	201頭
カラス	2羽	1羽	—	64羽	—	67羽

2. 狩猟等免許取得のご案内について

農家の方、定年退職をされた方、イノシシの出没により不安を感じている町民の皆さま、狩猟免許を取得してイノシシの捕獲をしてみませんか。町では、狩猟免許取得後に捕獲隊へ入会される方に対して、次のとおり補助します。

- 狩猟免許取得・更新に係る費用の定額補助 10/10
- 猟銃の所持許可取得・更新、猟銃の購入に係る費用の定額補助 10/10（上限50万円）

3. 上島町鳥獣被害防止対策事業補助金（イノシシ防護柵等の補助金）について

野生鳥獣による被害防止を目的として、農地および宅地に設置する資材の購入経費、取付けに要する経費および設置した資材の修繕に要する経費の一部を予算の範囲内で補助します。

・対象事業、補助率、補助金上限

- ① 農業生産被害防止対策事業
野生鳥獣による畑への被害を防止するため、防護柵等を整備する事業
補助率 2分の1 上限10万円 ※取付け費用込み（認定農業者および認定新規就農者の方は上限25万円）
- ② 宅地侵入防止対策事業
野生鳥獣により実際に被害を受けている宅地を対象に、防護柵等を整備する事業
補助率 2分の1 上限5万円 ※取付け費用込み
- ③ 鳥獣被害防止施設更新事業
すでに整備した防護柵等が、イノシシ等による被害または自然災害により破損したことが認められる場合に、防護柵等を更新する事業
補助率 2分の1 上限3万円 ※取付け費用込み

■ 問い合わせ

岩城総合支所 農林水産課 ☎ 75-2500